

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 29年 12月 7日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470104898		
法人名	株式会社 ひょうま		
事業所名	グループホーム ひなたぼっこ・高陽①②		
所在地	〒739-1732 広島県広島市安佐北区落合南七丁目10番20号 (電話) ① (082) 841-5670 ② (082) 845-2050		
自己評価作成日	平成29年10月29日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3470104898-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3470104898-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人 広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6番29号
訪問調査日	平成29年12月5日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>家庭的な雰囲気の中で、明るく、楽しく、笑って過ごしてもらえるような、入居者一人一人の思いを尊重したのびのびと穏やかな生活づくり（高陽①） 3A 安全、安心、明るい職場環境を目標とし利用者の思いを少しでも形に出来るような生活を送って頂く（高陽②）</p>
---

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>利用者一人ひとりの要望を尊重し、その要望を出来るだけ実現するように取り組んでいる。一日のスケジュールは一応決まっているが、利用者の状況に合わせて歌を歌うなどのレクリエーションをしたり外出するなど柔軟に対応している。また、利用者がそれぞれのペースで過ごせるように職員は見守るようにしている。利用者に変化が見られると、職員同士で話し合い管理者に助言を求め介護の見直しを行っている。利用者と一緒に買い物に出かけ手作りの食事を提供しているが、時にはテラスで焼き肉やバーベキューを楽しむこともある。花見や紅葉狩りなどの遠出外出の際には外食を楽しむこともある。</p>
---

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を掲げ、入居者の意向を聞き、尊重しながら、地域行事等に参加するなどして、その人らしい生活の実現に向けて日々努力している。	法人の基本理念は、施設内に掲示したり申送りノートに添付し職員に周知している。基本理念の下に各ユニットは、年間目標を掲げ実践し、年度末には実施状況を評価している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	運営推進会議などでの情報交換しており、地域の祭りや行事、地域清掃の案内を受け参加している。日常的には近くの畑の方、散歩途中で会った方と挨拶を交わし、何気ない会話をする、また避難訓練への参加など無理なく少しずつ取り組んでいる状況である。	町内会に加入し地域清掃に職員が参加して協力したり、地元高校の実習生を受け入れている。地域包括支援センター主催の敬老会や行事に参加したり、近隣のグループホームに花見に出かけたりと近隣の高齢者との交流がある。地域のボランティア団体が来所し演芸を披露することもある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の方への働きかけは、なかなか出来ていない状況であるが、スタッフの教育などを通してご家族、他の来訪者には常に認知症について理解をしていただける姿勢で対応している		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	出席された民生委員、地域包括支援センター、市役所の方より、他事業者の状況や近隣の高齢者及び地域状況の変化、災害時の避難方法及び対応、その他の意見・助言を伺い、サービス向上に活かしている。地域の方には避難訓練に参加されたり、見学をされたりといったこともみられている。	運営推進会議は、毎回数人の地域代表と時には利用者も参加し開催されている。しかし、家族に声掛けをしているが、今のところほとんど参加はない。出席者の提案により、地元の公立高校を訪問し、実習生の受け入れに繋がった経緯がある。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議の時に、入退居状況、職員の就業状況を伝え、幅広く円滑な受け入れを目指す取り組みをしている。	運営推進会議の案内を市へ送付するも市職員の参加はない。区生活課職員と利用者の相談することがある。地域包括支援センターとは職員や利用者を紹介してもらうなど良好な関係が築かれている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>鍵の施錠は、入居者の状況をみながら、安全を確保できる範囲で外している。その他身体拘束以外で、虐待、認知症についても研修を実施している。</p>	<p>年1回、「身体拘束と虐待」に関する研修を行い、勉強している。管理者は「言葉による強制も身体拘束・虐待に該当する」と職員に注意を促し、職員会議で実際に行われていないか検討している。夜間転倒防止の為にセンサーを使用する際には家族に説明し、了解を得ている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>年1回の研修以外にも、スタッフの日常的な入居者への関わり、声かけなどが無意識に身体的虐待、精神的虐待になっていることがないように、随時自省と注意を促している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見人制度について、学ぶ機会は作っていないが、内部研修でおおよそ権利擁護について学ぶ機会をもつことができている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には、家族や本人の不安や疑問を解消するよう希望、質問などに答え、解約時も同様に安心して繋がる説明をするよう努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>契約時に意見、要望、苦情などの窓口の設定状況など説明を行っている。また、面会時や、ケアプランの更新の際にも要望等について何うようにし、本社よりアンケートも実施している。</p>	<p>家族が来所した際やケアプラン見直し時に、家族の意見・要望を聞いている。「今のところ苦情はない」と管理者は話している。法人が年1回、家族アンケートを行い、その中での意見により、食事の内容を見直したり外出の機会を多くした。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>スタッフ会議の際や、日常生活場面で面接という形で、会社への要望、業務への要望を聞いて、出来る限り反映につなげている。</p>	<p>月1回の職員会議や業務中に話を聞いたり、時には個別面談を実施し職員の意見を把握している。また、職員の意見・要望は管理者会議で報告している。職員の意見により、夜間労働時間内で休憩の時間を設けたり、人材確保のために職員の処遇改善が行われた。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>個人面談にて職員個々の意見を聞く機会を設け、その意見を上司来訪などの際に直接相談、また要望として挙げている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>スタッフの教育システムは出来ていないが、外部研修などでスタッフの希望、必要性を考慮し、対応している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>なかなか実現できていないが、他事業所との交流や意見交換が少しでもできるよう、内部研修、勉強会等に可能な範囲で参加を促している。研修など参加した際には、報告も行うようにしている。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居の面談の際、またはサービス計画更新の際には、本人の状態変化を考慮しながら、あくまでも本人の利益になるよう、本人、家族に意向を伺い、可能なかぎりプランへ反映している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居の面談の際、またはサービス計画更新の際には、家族からの状況説明、優先すべき要望を聞き、本人のニーズと照らし合わせながら、家族の安心につながるよう可能な限り反映している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>入居前の事前調査により、どのような経過で、何を望んでホームへ入居になったか、また入居後はどのような対応を希望されるのかを伺うようにし、事前調査表を作成し、スタッフに情報を提供している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>生活行為（掃除、洗濯、調理）にできるだけ関わってもらえるよう、また無理な方はその身体能力のできる範囲を考慮しながら行っている。個々の状態に合わせ共助の関係を尊重し、できる方、できない方それぞれに無理のない声掛けをしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>面会や外出など、頻繁に来られる家族もいるが、諸事情によりなかなか来られない家族もおられる。ホーム、家族が共にという面では、まちまちであるが、それぞれの家族事情を考慮し、出来る範囲で無理のない関係性を維持している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>面会などの制限はなく、可能な範囲でそういった機会を提供できるよう家族にもお願いしている。家族の方との外出や面会などの際も相談の上、対応できている。</p>	<p>友人・知人の訪問は、家族の了解を得て受け入れているが、訪問時には歓迎し、また、いつでも面会が可能で夜間の訪問者も多い。利用者が家族に連絡を取りたいと希望すれば、すぐに家族へ電話をかけ利用者と話す機会を設けている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	入居者それぞれの性格を把握した上で、それぞれの関係を観察しながら場合によっては調整し、出来るだけ個々に適した環境設定を心がけている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退居の際には何か相談があればいつでも対応しますとお伝えし、安心のある変わらない関係性を継続させられるよう心掛けている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	訴えのできる方には可能なかぎり、本人本意で、そうでない方には本人本意に思いを汲み取りながら意向に即した対応を心がけている。	日常会話から把握した利用者の思い・意向は申し送りで報告している。「自宅にいる家族の様子を知りたい」との利用者の要望に対して、ケアプランに取り入れ、年に数回、帰宅する利用者がいる。自分の思いを伝えられない利用者については、今までの情報を基に利用者の現状を観察し対応している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	事前調査の情報、家族との話しの中、また本人との会話から知り得た情報を会議などで共有し、本人の利益につながるようスタッフ同士役立てている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	アセスメントにより、ある程度は把握できているが、常に変化をしていくものなので日常の状態観察、申し送り、会議にて共有している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>定期的なカンファレンスの実施は行っていないが、状態の悪化（入退院）などの際はご家族に改めて希望、意向をお伺いしプランを作成、同意を得ている。その他、更新の際は面会時などで意向をお伺いし、協力医、介護スタッフの意見も聞きながらプランを作成している。</p>	<p>ケアプラン作成・モニタリング・ケアプランの見直しは、計画作成者が行っているが、毎月の職員会議で職員の意見を聞き参考にしている。また、ケアプラン見直し時には、面談や電話連絡で家族の要望を把握しケアプランに反映している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子、変化については個別記録、申し送りへ記載し、対応を統一できるように情報を共有している</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>歯科往診、歌のボランティア、傾聴ボランティアなどのサービスを導入し、また季節の行事にも触れ合っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>敬老会、秋祭りなど地域の行事への参加、近隣で畑作りをしている方との会話などを行っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>常時本人状態が把握できているため、対応がスムーズに行える利点から、協力医療機関（内科）への主治医変更をお願いしているが、家族の希望であればそのままの主治医で対応している。</p>	<p>利用者・家族の要望でかかりつけ医を決めている。現在は、ほぼ全員が協力医をかかりつけ医とし、医師の紹介で眼科・精神科などを受診している。協力医は、2週に1回往診し、利用者の健康状態を把握している。また、訪問看護師も2週に1回来所し、利用者の健康相談に応じている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>2週1回の訪問看護の際に各ユニットの入居者の状態、対応について相談するようにしている。また内科往診の際にも同席した看護師と情報の共有を図っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時にはサマリーにより情報提供を行い、早期の退院等の受け入れも可能な範囲行っている。また、長期入院後の退院の際は病院関係者との打ち合わせも行い、適切な対応が受けられるよう配慮している</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居契約時の説明、またその都度で状態の変化があった際に、協力医と相談しながら今後の方針を家族と一緒に考え、電話などでも現状に照らし、細かく連絡を行っている。</p>	<p>入居時に、重度化した際の家族の要望を聞き、その際に「看取りに係る指針」を説明している。事業所としては、利用者が重度化した際に常時医療対応が必要となれば、協力医と相談して他機関を紹介するようにしている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>救急講習は全スタッフが受講し、適切な連携をどうとるかなど、対応に備えている。また内部研修等でも参加を促し、知識を深めている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回避難訓練を実施している。うち1回は、近隣住民の方と夜間を想定した合同避難訓練を実施し、災害時には応援をいただくことをお願いしている。また、スタッフにも災害時の避難場所、連絡網、持ち出し物、マニュアル等について周知している。</p>	<p>年2回避難訓練を行っているが、1回は夜間想定で、消防署立ち会いで地域住民も参加している。訓練後に反省会を行い、「大声で職員に連絡を取る」ことが話された。災害時における地域住民への緊急連絡網および法人内の協力体制が確立され、災害に備えて食料の備蓄が行われている。</p>	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者一人一人の思いや、現状態、事情を把握したうえでその方に合った個別の対応を心がけている。	管理者は、「常に利用者を尊重した言葉使いで対応する」、「利用者が羞恥心を感じないような対応をする」を職員に指導している。また、利用者の個人情報情報を漏らさない、個人記録はカギのかかる場所に保管するようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人の訴えや希望を、可能な範囲で対応できるよう心がけており、決定時は自分の判断で選択していただいている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	自分の思いを訴えることができる方については、希望を出された際にはできるだけ対応している。また、身体介助が多い方でも、なるべく笑顔が多く引き出せる関わりを心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	カットや髪染め、パーマ、また化粧品の購入など、ご本人や家族と相談しながらご本人の意向を出来るだけ反映するようにしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	誕生会のお寿司、季節感のあるバーベキュー、そうめん流し、またその日に食べたいと希望があれば出来る限り対応している。一緒に調理が出来る方は無理のない程度で、盛り付け、食器洗いを一緒に行っている。	利用者と一緒に買い物に出かけ、職員手作りの食事を提供している。食事の準備や後片付けは、食事づくりが得意だった利用者と一緒にいる。テラスで焼き肉やバーベキューをしたり、ドライブの途中で外食をする機会を設けて一緒に楽しんでいる。また、誕生会に家族が参加することもある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>主食、副食の形態、ダイエットの必要な方は量などを調整するなどして提供している。また状態、個々の習慣、嗜好も配慮し提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>口腔ケアは義歯の方も含めて基本的には毎食後に実施し、歯科往診も必要な方には受けて頂いている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>随時、また定時の排泄誘導を前後の排泄状態を考慮しながら行っている。また昼夜のパットなども状況によって変更し、使用減に配慮している</p>	<p>利用者の排泄パターンを把握してトイレ誘導を行っている。利用者に応じたトイレ誘導を行うことで、パットの使用量が減り、パットから布パンツへ改善した例がある。転倒防止の為に夜間のみポータブルトイレを使用する利用者もある。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>乳製品や水分、日々の献立、また往診時内科医に相談して服薬、坐薬で調整するなど、できるだけ便秘予防に努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴のタイミングや時間など配慮はしている。順番など希望を聞いて少しでも楽しみ感を持ってもらい、入浴後、入れて良かったという充足感につなげている。</p>	<p>週に3～4回、入浴するようにしている。入浴が嫌いな利用者に対しては、入浴を強制せず毎日声掛けをして、利用者が希望した日に対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	皮膚の状態や室温、排泄などそれ ぞれの睡眠状況に配慮し、協力 医に相談しながら適宜臥床時間 を工夫をし、睡眠の質につなげ ている。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	服薬状況がわかるようファイル に閉じ、スタッフがいつでも確 認できるようにしている。また、 誤薬にならないよう管理の工 夫、服薬の変更その後の状態 の変化の観察を申し送りにて 伝えている。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、嗜 好品、楽しみごと、気分転換等 の支援をしている。</p>	気分転換の外気浴、外出やイベ ント、洗濯物たたみ、盛り付け など、入居者に合わせた対応を している		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所でも 、本人の希望を把握し、家族 や地域の人々と協力しながら 出かけられるように支援してい る。</p>	職員の体制的にその日に対応 できないことも多いが、季節の 花見、紅葉狩りなど会議の際 に検討し、機会を設けて対応 している。家族へも希望があ れば面会の際にお伝えしてい る。	出来るだけ日常的に散歩に出 かけるようにし、介護度が高い 利用者も散歩に出かけている。 桜がきれいな場所への花見、 紅葉で有名な所への紅葉狩り などの遠出外出、初詣など外 出の機会を設けている。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。</p>	紛失のリスクを家族に説明し、 基本的には所持されていない が、金銭に対しての思いが 強い方や家族の希望があれば 小銭程度はいつでも引き出し 可能な預かりとしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>家族への連絡を希望される方は電話、連絡(電話)が入った際には希望があれば、本人と変わってお話をしてもらっている。また、出来る方は手紙のやり取りもされている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>壁面や季節の飾りなど季節ごとに変化させている。またその他の環境面等もシンプルで落ち着いた色調にしている</p>	<p>利用者が寒くないように浴室・脱衣室に暖房設備を設置し、リビングは床暖房として快適に過ごせるように配慮している。リビングの壁面には「季節を感じるスペース」を設け、クリスマス飾りなどを掲示している。利用者同士の間関係に配慮し、椅子やテーブルを設置している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>自分の席やソファなど各自一人で過ごせる場所は確保できている。人間関係を配慮しなるべくストレスの少ない配置にしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>基本的には持ち込みの制限はなく、安らぎのため馴染みのものを置くなど自由に使用していただいている。</p>	<p>家族からのプレゼントの観葉植物、家族写真、仏壇などを持ち込み快適に過ごせるように工夫している。利用者が自分で制作した絵画を飾っていた例もある。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>福祉用具など必要に応じ、調達し生活しやすい環境を整えている。今後も必要に応じていく。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。</p>	<p>企業理念、ユニット間での理念を掲げ、入居者の意向、その人らしい生活に近づけるように日々、努力し、地域行事(清掃活動、祭り、行事、サークル)などへの参加も可能な範囲行っている。</p>		
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。</p>	<p>地域行事、サークルへの参加者は限定的な方にはなっているが、年々、少しずつそういった機会は増えている。</p>		
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。</p>	<p>事業所発信での行動はない状況、依頼があれば対応可能。</p>		
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>出席者から、他事業者の状況や、その他の意見・助言を伺い、サービス、運営に反映できる事は取り入れている。地域の方は避難訓練の際には参加されたり、見学をされたりといった事もされている。</p>		
5	4	<p>○市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。</p>	<p>事故報告、困難事例、苦情対応などあった際には相談などしている状況。今後も意見などを伺いながら協力体制を維持して行く予定。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	虐待、身体拘束などの研修も実施し、身体拘束に当たる行為などは行っていない、今後も行なわない方針で運営をしていく。		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	年1回の講習、日ごろの入居者への対応など虐待、拘束に当たらないかも注意しながら日ごろのケアに当たっている。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	成年後見人制度を利用されている方もおられる状況、今後そういったケースあれば制度活用も含め検討し、学習を行う予定。		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	契約時には、家族へ十分な説明を行い、希望、質問などにもお答えしている。また、改定事項あれば説明、文書での承諾を得ている。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	契約時に意見、要望、苦情などの窓口の設定状況など説明を行っている。また、面会時やケアプランの更新の際にも要望等について何うようにしたり、本社よりアンケートも実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>会議や日常業務中の中で、スタッフの要望や意見等を聞き入れ、対応可能な範囲で改善し検討している。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>業績にもよるが昇給なども定期的にされている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>同一グループの研修会へは参加させているが、外部の研修は人員的に不足している状況で参加させられていない状況。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>同業者との交流は管理者に多いが、スタッフはグループ内での内部研修などの機会に交流を図り、各事業所間での交流を図っている。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前の見学時から家族の要望、利用者の様子なども聞き取りを行い、ニーズに添った対応をお話してから入居を進めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居の面談の際、またはサービス計画更新の際に、家族へも状況の説明、今後の要望を聞きサービスの実行に移している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>入居前にはまず、ホームの環境に慣れていただくことから始め、生活の様子を観察しながら個別の環境、生活ができるように配慮している</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>可能な範囲、生活動作への参加を促し身体機能、認知機能の維持に努めている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご家族の状況にもよるが、本人と関わる時間なども持ってもらうように促し、施設の家族の都合、要望に柔軟に対応できるようにしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>馴染みの方の面会等や入居前に良く行っていた場所への外出などされる場合は協力をしている。</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	本人の性格、利用者同士の関係が維持できるような生活環境を考慮し、実施している。		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	退居後もご本人が次の施設等が見つかるまで紹介をしたり、相談を受けたりと対応している		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	本人の様子や行動をみながら、それぞれの生活時間に合わせて対応している。困難な場合は身体状況、訴えをみながら家族とも相談し、了解を得ながら対応している。		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	事前に知り得た情報は入居前に共有できるように書面等で周知している、また、その後知り得た情報も会議等で共有している。		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	ご本人の状況に合わせ随時、環境、生活の過ごし方も検討、変更している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>プラン作成、変更時は可能な範囲、ご家族ともお話をし改めて希望、意向をお伺いしプランを作成、同意を得るようにしている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の変化、対応など申し送りを活用し対応している、また計画作成にも現在の状態、対応も含め検討している</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>地域サークルへの参加、歯科往診、傾聴ボランティア等も取り入れている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>本人の現在の状況、家庭環境等も考慮しお互いが協力しながら対応している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居の際、協力医療機関への主治医の変更をお願いしているが、家族の希望があればそのままの主治医で対応している。また、緊急時の受け入れ希望など主治医に伝え可能な範囲反映している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>月2回の訪問ではあるが状況を伝え助言も頂いている。また、協力医の看護とも相談を行っている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時にはサマリーにより情報提供を行い、早期の退院等の受け入れも可能な範囲行っている。また、長期入院後の退院の際は病院関係者との打ち合わせも行い、適切な対応が受けられるよう配慮している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居契約時の説明、またその都度、状態の変化があった際に協力医と相談しながら今後の方針を家族と一緒に考えるようにし、電話、面会時などでも細かく連絡を行っている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>救急講習会もグループ内部研修で実施している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回避難訓練を実施している。うち1回は、近隣住民の方との合同避難訓練を実施し、災害時には可能な範囲で応援を頂く事をお願いしている。また地域自治会へも入居所の状況もお伝えしている。災害時対応は今後訓練も行っていきたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者それぞれの性格や状態も含め、不快のない理解のしやすい声掛け対応を心がけている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人の訴えや希望を可能な範囲で対応できるよう心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	自分の思いを訴えることができる方については、希望を出された際にはできるだけ対応している。また、身体的な介助が多い方でも、なるべく負担なく、普通の生活を行えるよう配慮している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	化粧や衣類に関しても、以前からの習慣や家族、その日の本人の意向も反映するようにしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	日々のかかわりから得た希望を取り入れたり準備、片付けもできる範囲、一緒に行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>主食、副食の形態、量など状況をみながら提供している。また、個々の習慣、嗜好も配慮し、個別食なども対応している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>口腔ケアは1日3回実施し、歯科往診も必要な方には受けて頂いている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>随時、また定時の排泄誘導を前後の排泄状態を考慮しながら行っている。またパットなども状況によって変更している。また、なるべく排泄用品も使わないよう検討している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>乳製品や水分の摂取、体操など、水分、運動ができるよう便秘予防に努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>なるべく入浴をスムーズに受け入れていただけるよう声掛けや誘導にも工夫している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	特に夜間は柔軟性を持って関わり、 安心していただけるよう臨機応変 に対処している。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状の 変化の確認に努めている。</p>	服薬状況がわかるようファイルに閉 じスタッフがいつでも確認できる ようにしている。また、服薬の変 更、その後の状態の変化の観察を 申し送りにて伝え、ドクターとも 連携して対応している。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ご せるように、一人ひとりの生活歴 や力を活かした役割、嗜好品、楽 しみごと、気分転換等の支援をし ている。</p>	生活暦や日常の会話、家族との会 話の中から得た情報を活かし、個 別に外出場所も変更している。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそっ て、戸外に出かけられるよう支 援に努めている。また、普段は行 けないような場所でも、本人の希 望を把握し、家族や地域の人々と 協力しながら出かけられるよう に支援している。</p>	全ての思いに配慮できないが、当 日体制的に可能であれば、ドライ ブや散歩、家族と相談し外泊、自 宅への帰省、野球観戦なども行 っている。		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの 大切さを理解しており、一人ひと りの希望や力に応じて、お金を 所持したり使えるように支援し ている。</p>	基本的には所持されていないが、 金銭に対する思いが強い方などは 持って頂き、精神的に安定して いただけるよう配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>家族への連絡はしていただいている。困難な方は面会の際に日常の会話、エピソード、思いなども伝えるようにしている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>壁画や季節の飾りなど環境を変化させている。またその他の環境面等もシンプルにわかりやすくしている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>共有スペース以外にも自由に使える和室なども用意し思うように動いていただけよう配慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>家族へもなるべくご本人にとって馴染みのある物を持ってきていただくようお願いし、それらを含め使いやすい配置も行っている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>本人の状態を考慮し自分で生活動作を思うように行えるよう配慮している</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない



64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームひなたぼっこ・高陽

作成日 平成29年12月17日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域と限定的な付き合いしか出来ていない。	地域と広く多岐に亘った関わりを持ちながら様々な交流が出来る。	地域のイベント、行事に目を向けつつ、ボランティアの来所などを積極的に受け入れ人々との交流を図る。	1年
2	13	外部の研修を受ける機会がなかなか確保できていない。	スタッフの力量、経験を考慮しながら今必要としている内容の研修を選出し、受講してもらう。	スタッフとの面談を通じて今学びたい事、学ぶ必要性のある事のすり合わせを行い何を受講すべきか決めてゆく。	1年
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。